

ノート法入門（土曜日 5回 14:00～17:00）

親子のよりよいコミュニケーションをめざした

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部助教授） 澤田 孝子
概要	<p>自分のコミュニケーションのあり方に目を向け、よりよいコミュニケーションを生むための第一歩を踏み出してみませんか。</p> <p>元々「ノート法」は、「母親ノート法」として東山紘久氏により不登校の子どもとその母親とのコミュニケーションの改善をはかり、お互いのやりとりや関わりがセラピューティック（治療的）になるように考案されたものです。</p> <p>本講座は自分と他者とのコミュニケーションをよりよくしたいと思っている方ならば、どなたでも参加していただけます。ノート法を用いて、母と子どもに限らず、家族などの周りの人々とのコミュニケーションの改善を目指す入門編です。コミュニケーションを改善したい相手と自分との会話をノートに記し、その会話がよりお互いの思いや気持ちを伝え合うものになるよう、スタッフと参加者とで考えていきます。自分の会話の点検だけでなく、他の参加者の点検の中からも学ぶことがあるでしょう。</p> <p>今回は入門編ですので、本講座終了後、より深く学びたいという方にニーズに応じた研修の場やプログラムを紹介することもできると思います。</p> <p>講座内容（予定） 第一回 ねらいの共有化、ノート法の考え方と方法の説明 第二～四回 小グループでのノート点検 第五回 まとめ</p>
日程	2000年 10/14、11/11、11/18、12/2、12/9
定員	20名
会場	南山大学 D棟
研修費	27,300円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）